

安全保障の意味で国が保証し、国鉄職員は自衛隊
 鉄道部隊となつて輸送に協力する」との案を藤尾
 労相（当時）に提案したように、対ソを名目とし
 た有事即応体制を肯定したうえで、自らを自衛隊
 の輸送部隊と位置付ける戦争翼賛勢力としての正
 体を暴露した。つまり、「自衛隊への出向」は当
 然の結論なのだ。

われわれは、国鉄労働運動の内部に潜み、労働
 組合の看板を掲げ、労働者の仮面をつけて、丸ご
 と翼賛運動にひきこむことを策動するファシスト
 集団「動労「本部」革マルの本質を見据え、国鉄
 労働運動からの追放、一掃を実現しなければなら
 ない。

●お知らせ●
 来る8月16日（金）および17日（土）の両日
 の「日刊」は休刊とし、次号は「8月19日（月）
 第二〇一七号」の発行となります。



「分割・民営化」10万人首切
 リ粉碎の闘いの勝利にむけて、
 全国鉄労働者の総武装・
 総決起をかちとろう！

Ⅲ 待望の特集号 発行 Ⅲ

特集号の主な内容

● 「分割・民営化」攻撃をみすえ
 総反撃の闘いに決起しよう

● 「60・3ダイ改」～「3・24三里塚」に勝利した地平を打ち固め
 侵略戦争への道Ⅱ「分割・民営化」と対決し、

反動・中曽根内閣を打倒しよう

● 国鉄労働運動の展望

「60・3ダイ改」闘争を中心に——
 動労千葉執行委員長 中野 洋

● 国鉄「分割・民営化」のねらい

労働運動研究家 杉田 明

● 闘いの記録

(84・6・9～85・4・16)